

地域連携推進会議 議事録 (1)

作成者	柳瀬 和枝
開催日時	令和 7 年 10月 28 日 (火) 10:00 ~ 12:00
開催場所	共有スペース
参加者	柳瀬和枝(管理者兼サビ管) 服部愛(支援員) T様(曾屋セブンイレブン会長)・M様(利用者様)家族・Y様(利用者)

会議概要

①開会の挨拶

- ・主催者よりあいさつ
- ・会議の趣旨と目的の説明

②出席者紹介

- ・自己紹介

③施設概要と支援内容の説明

- ・共同生活援助(介護包括型)の概要
- ・入居基準・料金、1カ月の実費金額概算の説明
- ・食事提供・金銭管理・居室清掃サポート
- ・利用者の生活スタイル(個室での生活・共有スペースという交流の場)

④障がいについての基本的な理解

- ・障がいの種類と支援の工夫
- ・コミュニケーションや環境面の配慮

⑤利用者の日常生活の紹介

- ・日中活動、帰宅後の過ごし方
- ・職員による生活支援(掃除・金銭管理など)
- ・職員の基本的な1日の流れ・基本業務を説明

⑥地域との関わり・行事の紹介

- ・たばこ祭りへの参加
- ・毎月の壁画作り
- ・毎月のおやつレク

⑦意見交換・質疑応答

- ・地域の方からのご意見・ご質問

< * 地域との関わり・交流について * グループホームが近くにあることへの意見や不安 * 今後力を入れてほしい事 * ご家族と職員との情報共有や連携で、改善して欲しい事 >

- ・今後の連携に向けた提案やアイデア

⑧ヒヤリハット報告書・研修の内容の発表

- ・内容の一部を参加者全員で読み合わせと情報共有

⑧施設紹介と見学のご案内

- ・安全性への取り組み
- ・建物の特徴、共有スペースの紹介
- ・日常の様子や地域との関わり
- ・グループホームの理念
- ・個別支援計画の作成
- ・環境や立地
- ・利用者の了解を得て1室見学を実施

⑨閉会あいさつ

- ・ご参加への感謝
- ・今後の協力をお願い
- ・次回開催予定のご案内

地域連携推進会議 議事録 (2)

作成者	柳瀬 和枝
開催日時	令和 7 年 10月 28 日 (火) 10:00 ~ 12:00
開催場所	共有スペース
参加者	柳瀬和枝(管理者兼サビ管) 服部愛(支援員) T様(曽屋セブンスイレブン会長)・M様(利用者様)家族・Y様(利用者)

会議内容

<自己紹介にて>参加者のY様より

20歳の時に留置所に入ったことでおかしくなり妄想・幻聴が出てしまった。その後12年入院しました。今は落ち着いて安心して生活が来ている。幻聴もない。今何か役に立てるなら草むしりでも何でもしたい。

<日常生活について>参加者のY様・M様より

- ・居室は1人だと十分な広さ ・快適なお部屋
- ・日々困る事があったら常に支援員さんへ相談出来ている。
- ・酷い台風時に作業所へ行くのが心配。

→GH あまりにも酷い時は安全を考え、無理しないで行かなくて良い。病院へは定期通院以外にも天候が悪すぎて行けない時は送迎している。

<施設の環境・立地について>参加者のT様より

私もグループホームの近くに住んでおり庭に毎日、鹿が来る。足跡も良く見かけ柿やナスやピーマンを良く食べているのを見る。鹿以外にもハクビシンやアナグマも見た事がある。自然が沢山で良い所。

<地域との関わり・交流についてグループホームの利用者様、職員が参加できそうなもの> 参加者のT様より

- ・秦野駅近くや震生湖でゴミ広いを皆でしている姿をたまに見る。
- ・たばこ祭りの防犯パレードに私は参加している。
- ・関わりと言えど近所同士、防災訓練や緊急時の集合場所を身近な近所の家にする等、地域の人達と話しあっている。

<グループホームが近くにある事によって不安や気になる事>参加者のT様より

- ・グループホームというものがわからないのが現状。普段、声が聞こえる事もあるがしかたないと思っている。施設周りは草むしりされており掃除も行き届いていると感じる。

<グループホームでの支援や生活について心配な事や要望>参加者のM様より

- ・冬場暖房器具がエアコンだけなので寒くないか心配している。
- GH 灯油系は火事の恐れを考え禁止としているが電気ヒーターなら問題ない。

<グループホームとして今後、力を入れてほしい事>参加者のM様より

- ・健康管理としては病院への通院や受診同行の実施があるので安心、今後も頼りにしている。